

8 月度 <b>例会</b> 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	神戸
個人		報告日	8/30		
山 域	東北(鳥海・会津)	山行日	2018年8月13日(月)、		
山 名	鳥海山,会津駒ヶ岳,帝釈山		14(火)前夜泊 各日帰り		

山行目的	百名山探訪ハイキング	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------------	--------------------

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集  
会担当者



2.5 万分の 1 地図: [鳥海山、会津駒ヶ岳、帝釈山]

8/13 晴れ  
4:40 百宅登山口車中泊出発(835m)  
6:15-20 屏風岩(1515m)  
7:30-45 霧が平(1940m)  
8:30 七高山(2229m)  
9:05 鳥海山山頂新山(2236m)  
11:45 駐車場着→移動  
21:30 道の駅(きらら 289)

8/14 曇り時々晴れ  
5:05 会津駒ヶ岳登山口発(1080m)  
6:05-10 (1475m)  
7:10-20 (1785m)  
7:55 駒の小屋(2060m)  
8:10-15 会津駒ヶ岳山頂(2133m)  
10:25 登山口着→移動  
12:10 田代山登山口発(1425m)  
12:50-13:00 (1730m)  
14:00 田代湿原通過  
14:20-25 (1910m)  
15:05-10 帝釈山山頂(2060m)  
17:20 駐車場着→帰宅(8/15)



〈山行報告〉5月連休に無謀にも計画した会津駒ヶ岳、帝釈山に加え、入部以来行きたかった鳥海山を1日目に計画した。後半悪天候が予想された為、2山を1日にまとめた。

【鳥海山】メインは日本海側の登山道だが、県別最高峰(地点=1750m)付近を探訪するため、百宅コースを選んだ。良い点は百名山なのに人がなく、外輪山までで計5名しか会わなかった。残念な点は日本海側の影鳥海や鳥海湖などが見られないことである。アプローチの林道は轍に気を付けないと底をヒットする。こんな短い文で紹介するのはもったいないが、個人的に眺めて良い山ベスト10に入る。一度訪ねてみてください。

【会津駒ヶ岳】計画では3日目だったが、天候の状態が不安定で時折雷雨予想の為、一日早めた。理由は、こちらは頂上近くの高層湿原が売りだが、そんな所で雷雨はご免である。以前北海道の雨竜沼湿原(約2km)を雷雨の中歩いたことがある。生きた心地がしなかった。雷には注意。朝から蒸し暑く、日が時折差すため、体力を奪われた。

下山中に熊を見かけたという登山者の言葉に、そこから口笛を吹くようになった。そういえば登山者の8割方が熊鈴を鳴らしていた。東北は最近熊害があるため、登山時は要注意である。

【帝釈山】通常一番近い馬坂峠から登られている。しかし会津駒に劣らない高層湿原のある田代山を外すわけにはいかない。午後からの登山という、通常あるまじき時間に登ったため、出会った登山者は3名。田代湿原

は良い処だが、熊目撃情報の掲示が避難小屋にあり、早々に通過した。帰り際林道で目の前を熊が通り過ぎた。歩行中に出会わなくてよかった。こちらもアプローチの林道は轍に気を付けないと底をヒットするが、浮石は少なめであった。

また会津駒ヶ岳の方が湿原のイメージ強いが、田代湿原の方がずっと広い。(約500m四方である。ちなみに尾瀬は別格で6km x 2km)



田代山頂上付近はプリン型。(パンフの写真より)  
登山道で凝灰岩(大谷石?)を見かけた。

〈リーダー所見〉いずれも登り3時間以上の山で個人山行にはもったいないが、夏山合宿には都合がつかず百名山チャレンジに参加した。こんな遠くに来て、長時間運転・長時間登山は計画に無理があったかと思う。東北の名山はアプローチが大変なので、今後は皆さんと行きたいと思う。

確認  
(リーダー)  
神戸  
18/08/17  
戸  
作成  
(報告者)  
神戸  
18/08/17  
戸